

シュガーエステル分散液

生分解・バイオ

- 食品添加物として長年実績のあるシュガーエステルを主成分とした分散液です
- シュガーエステルは植物由来の原料(砂糖と脂肪酸)から作られております
- 紙へ塗工することで耐水性・耐油性を付与させることができます



耐油紙

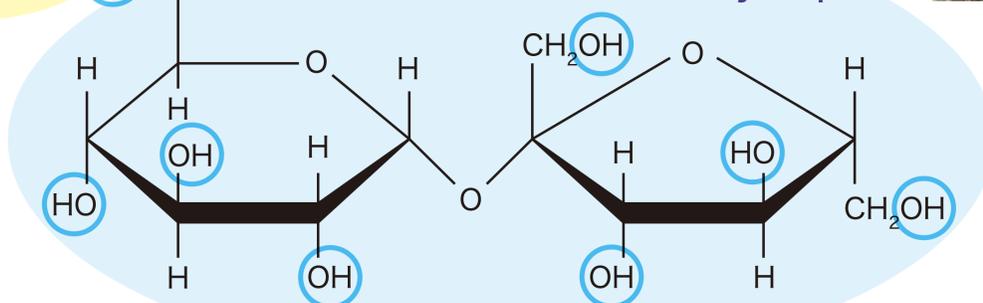
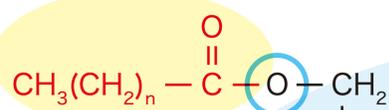
シュガーエステルの構造と特長

- 非イオン性界面活性剤
- バイオマス由来・生分解性



疎水基
Fatty acid :
Hydrophobic

植物油(パーム油等)



親水基
Sucrose :
Hydrophilic



サトウキビ

* 米国FDAの食品接触材の既認可物質CFR172.859 (SEFA) 該当。
塗工した包装材(紙)は、場合により§170.39の規定に従う必要がある。

紙へ塗工した際の耐水・耐油効果

	水 接触角 (°)	吸水度 ¹⁾ (g/m ²)	耐油性 ²⁾ (KIT No.)	折り曲げ耐油 ³⁾ 室温(オリーブ油)	耐サラダ油 (35°C・24h)
従来開発品	87	1.00	5	△	△
新規 開発品 A	101	0.69	12	○	○
新規 開発品 B	94	0.74	12	○	○

従来品より耐油性・製膜性が大きく改善

アプリケーションを用いてグラシン紙(28.5g/m²)にコート剤を塗工後120°Cx3min乾燥 塗膜厚:約15μm

1) Cobb試験(JIS P8140-1998, 水接触時間30秒)

2) KIT法(J.TAPPI No.41)

3) 折り曲げた谷側の部分にオリーブ油を滴下して7min後、表面の油を拭き取り試験紙の表面を目視で観察

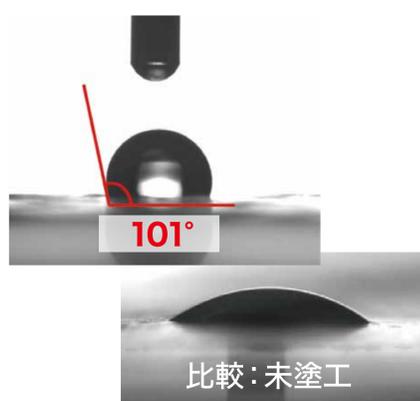
シュガーエステル分散液 物性



品名	液性状	
	固形分 (%)	粘度 (cps)
従来開発品	20	約600
新規 開発品 A	20	約650
新規 開発品 B	20	約500

水接触角

新規開発品 A 塗工



耐サラダ油(35°C/24h)

従来開発品 (※)アクリルエマルジョンと混合して塗工



新規開発品 A



新規開発品 B

